

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員 指導課 特別指導員
岩波 英一

日立理科クラブ・理数アカデミー

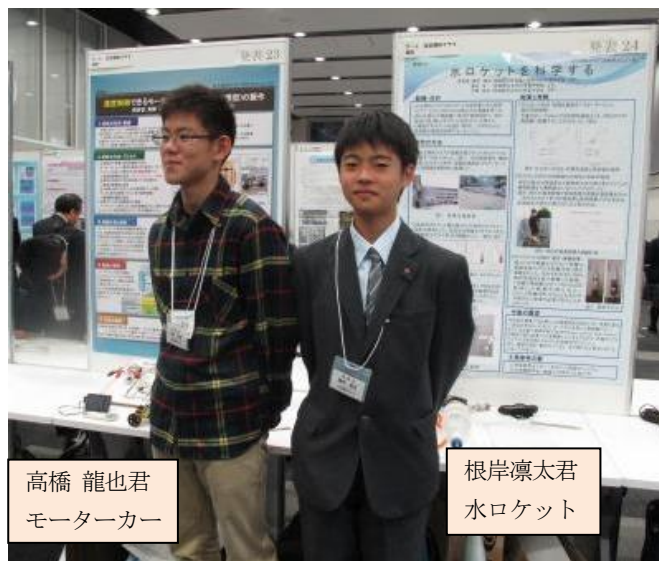
JST 全国受講生研究発表会…優秀賞受賞

日立理科クラブの理数アカデミー所属の生徒2名が、平成25年度全国受講生研究発表会で、ポスターセッションを行いました。この催しは、JSTが主催して毎年実施しているもので、東京都立産業技術研究センターなどを会場に、2日間実施されました。JSTとは、次世代科学者育成プログラムの推進母体です。平成24年度に、日立理科クラブは、東京大学や東北大学、筑波大学など理数教育に力を入れている大学と肩を並べて応募し、次世代科学者育成プログラムの推進団体に選出されました。このことはとても素晴らしいことで、日立理科クラブのこれまでの取組が認められたこととなります。

今回の研究発表は28件で、高校生が15件、中学生が12件、小学生が1件です。分野別では、生物12件、生命・医科学4件、化学3件、工学5件、物理・数学3件、地学1件で、全体の約6割は、生物や生命・医科学でした。根岸凜太君(日立一高附属中2年)と高橋龍也君(久慈中1年)が、日立理科クラブ・理数アカデミーを代表して発表会に参加し、「水ロケット」と「モーターカー」についてのポスターセッションで、堂々と自分たちの研究内容を発表しました。同行した日立理科クラブの鈴置 昭さんの話によると、「短期間でよくここまでまとめていただきました。感激しました。」と、JST担当者からおほめの言葉があったということです。2人の発表は見事に優秀賞を受賞しました。次世代メニューB(中学生の部)の受賞者は3名で、そのうち2名が日立理科クラブ所属ということですから大変な快挙ですね。発表に先立ち、未来の科学者養成講座で育ったOB、OG8名(現在は、いずれも大学生)によるメッセージや、パネルディスカッションが行われ、中学や高校で継続して積み重ねた研究の様子や、世界大会に出場して研究の成果を発表したことなどが語られたそうです。中学や高校での取り組みの実践が、現在の大学での学びに直結しているということは、とても素晴らしいことではないかと思えます。きっと、根岸君や高橋君も、これから高校・大学と進む進路の中で、大きく羽ばたいていくことを期待したいですね。

JST : Japan Science and Technology Agency (科学技術振興機構) の略称

- 速度制御できるモーターカー(電気自動車模型)の製作
- 水ロケットを科学する



高橋 龍也君
モーターカー

根岸凜太君
水ロケット

